

科目ナンバー	ARC-1-001-sn			科目名	考古学		
教員名	原 雅信			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	考古学は人間が残した遺跡から、過去の生活や社会の実態やその変化を研究する学問である。研究対象である遺跡は各地に存在し、目に触れる機会は少ないように思われるが現在の生活域には必ず遺跡があり、私たちの行動範囲にも存在するものである。その意味で、遺跡は身近な存在でありそれを研究対象とする考古学も身近なものといえる。この講義を通じて、日本の歴史、地域の歴史とともに考古学が身近な存在であることを再認識できるよう配慮し、実際の発掘資料や地域の遺跡資料を活用し、理解を促す。また、歴史としての過去を学ぶ意味も考える機会としたい。考古学がはたす温故知新の意味を理解していきたい。						
到達目標	考古学は具体的な資料(遺跡、遺構、遺物)を研究対象とするため、そこから理解される人間の歴史も具体的にわかるものと思われがちである。しかし、遺跡として残されている資料は人間生活の一部であり、歴史の断片といえるものである。その断片である資料から、関係性や地域性を理解するためには、考古学的方法とともに全体と部分をよく観察する態度が必要である。全体と部分を考えながら、歴史を学ぶ楽しさや必要性を理解したい。その際、遺跡に残された生活の痕跡から、歴史は人が生きた証しであることを知り、主体的に生きることの重要性を理解する。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	主として講義形式による。具体的な資料を活用し、可能な限り実物資料(土器や石器などの発掘資料)を持ち込んで行いたい。また、パソコンにより画像を提示しながら臨場感をもって理解できるよう配慮したい。さらに、実習的な活動も取り込みながら興味をもって考古学を学びべる機会としたい。また、考古学の理解を深めるために群馬県立歴史博物館などの文化施設を利用した学外実習も予定したい。内容については、初回の講義の概要のなかで説明する。						
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	考古学は、遺跡に残された人間生活全般を研究対象とすることから、歴史のみではなくあらゆる分野の総合科学としての側面も強い。その意味から、多方面の知識や興味が考古学への理解につながるものといえる。夏季休暇などを活用し、幅広い読書や博物館、美術館などの見学により多くの知識や興味を育成しながら、後期に予定される講義にのぞんでほしい。						
アセスメントポリシー及び評価方法	授業への参加度30%。課題レポート20%。期末試験(レポート試験。内容は授業のなかで説明予定)50%を基準に評価します。						
教材	あらかじめ用意してもらった教材(テキスト)はない。講義に際しては、プリント資料を配布する予定である。						
参考図書	「金井東裏遺跡の奇跡 古墳人、現る」群馬県埋蔵文化財調査事業団 上毛新聞社刊 978-4-86352-231-2						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	講義の概要 考古学の歴史と方法講義の概要と予定について説明する。また、考古学の歴史と方法について学び、研究の目的や意義を考える。最近の群馬県内の発掘調査状況を理解し、考古学が地域に密着した存在であることを理解する。						
授業外学修内容						時間数	
2週目							
授業学修内容	人類の出現、旧石器時代と新石器時代人類の出現と旧石器時代の始まりから新石器時代への進化の過程を概観する。現代人の基礎となった旧人類の生活を考え、現在との関係を理解する。						
授業外学修内容	小・中・高校で学んだ原始・古代についての概要や特徴をまとめておく。あわせて旧石器時代と新石器時代の相違点も理解しておく。					時間数	2
3週目							
授業学修内容	縄文時代の幕開け 縄文時代はいつからか? 旧石器時代から縄文時代への時代の変化を学び、自然環境の変化のなかでの人間社会の変動について考える。						

授業外学修内容	小・中・高等学校等で学んだ縄文時代の概要や特徴について理解する。	時間数	2
4週目			
授業学修内容	縄文土器は生命の器 長期にわたる縄文時代の原動力は土器が担っていた。歴史的な食糧革命の役割りを果たし、縄文人の生命を支えた土器について学ぶ。また、土器を飾る文様の意味についても考える。		
授業外学修内容	縄文土器の利用法や特徴について、どのように考えられているか調べておく。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	群馬県の遺跡について学ぶ。群馬県は全国的にみても重要な遺跡が数多く存在する地域となっている。その理由の一つに火山灰や軽石層に覆われた遺跡の存在がある。発掘された群馬の遺跡の実態を学ぶ。		
授業外学修内容	群馬県内にどのような遺跡があるのか、調べておく。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	右と左の考古学(縄文の基礎知識)縄文土器の縄文は、縄づくりの技術を駆使して作製された。燃る、巻く、結ぶ、組むなどの技法と、右と左の組み合わせにより数十種類が存在する。縄文の基礎知識を学びながら、右と左の意味についても歴史的、制度的、身体的なことを含め考察する。		
授業外学修内容		時間数	
7週目			
授業学修内容	右と左の考古学(縄文の実習)縄文の基礎知識で学んだことを、紙ヒモを使用して実際に縄を作成する。燃り合わせながら縄文人が発明した技術を理解し、右と左の組み合わせにより多数の縄文が出来上がることを実習する。課題レポートについて説明をする。		
授業外学修内容	課題レポートの課題内容について、考察し、作成する。	時間数	3
8週目			
授業学修内容	自然災害と考古学過去の人間生活が残されている遺跡には、火山噴火、地震、洪水などの自然災害の爪痕も刻み込まれている。かつての自然災害と人々の歴史からわかる復旧の姿を理解する。そして、現代社会の防災について考える。		
授業外学修内容	記憶に残る自然災害についてまとめておく。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	身近な考古学考古学や研究対象である遺物や遺跡は日常生活とは関係のない存在とおもわれがちである。しかし、あらためて身の回りを観察すると身近に考古学が存在することに気がつく。この視点で自分にとっての身近な考古学の存在を理解する。また、期末試験(レポート試験)についての説明を予定する。		
授業外学修内容		時間数	
10週目			
授業学修内容	発掘でわかる原始・古代の歴史群馬の遺跡によって解明されたきた日本の歴史の特徴について学ぶ。社会の変化と人間生活の変遷を理解しながら、現在の社会について考える。		
授業外学修内容	最近話題となった遺跡のことや、興味のある歴史・人類学および考古学の話題についてまとめておく	時間数	2
11週目			
授業学修内容	古墳時代を発掘する①「ヨロイを着た古墳人の発見」渋川市の金井東裏遺跡で全国初の発見となったヨロイを着た古墳人の発掘調査について、その経過をたどりながら古墳時代の実像を学ぶ。		
授業外学修内容	配布資料をもとに、火山災害と遺跡の形成について概要を理解する。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	古墳時代を発掘する②「豪族の住んだ屋敷の発見」渋川市の金井下新田遺跡から、古墳時代の豪族に関係する屋敷が発見された。この屋敷の構造を分析しながらこの場所に遺跡が造られた理由を探る。		
授業外学修内容	配布資料をもとに古墳時代の豪族の屋敷の特徴を理解する。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	古墳時代を発掘する③「祭祀に込められた祈り」土器や勾玉、首飾りなどの装飾品を祭具とした祭祀の場が発掘された。その調査の経過をたどりながら、古墳時代の祭祀について理解する。そして、現在の社会のなかでの祭祀の関係を考える。		

授業外学修内容	配布資料をもとに、古墳時代の祭祀の様子を理解し、現在の祭祀との関係を考える。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	古墳時代を発掘する④「古墳時代の馬の発見」渋川市の金井下新田遺跡から、古墳時代の馬が発見された。この「金井馬」発見の経過と日本の歴史のなかで果たした馬の歴史的意味を考える。		
授業外学修内容	配布資料をもとに、人間社会と馬の関係および馬の果たした歴史的役割を理解する。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	キーワードでこれまでの授業を振り返り、人類の歴史や発掘でわかる群馬の歴史について、全体像を理解する。そして、原始・古代の人間の生活と現在の生活の変化を考える。考古学で学ぶ「温故知新」を学習する。		
授業外学修内容	考古学を含め、歴史を学ぶことの意味についてこれまでの授業で考えたことをまとめておく	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		25	
その他に必要な自習時間		65	

Number	ARC-1-001-sn	Subject	Archaeology		
Name	原 雅信 (Hara Masanobu)	Year and Semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>Archaeology's study reveal past lives and society from the ruins left by the man.</p> <p>Relics for the study is around the ruins exist in our community.</p> <p>In that sense, can Archaeology Research accessible.</p> <p>Purpose to learn the results of archeological studies and excavations, concrete monuments in Gunma the.</p> <p>Trying to understand the past in archaeology.</p>				